

金融機関と情報交換  
税理士連携を推進

TKC中国会

【広島】TKC中国会(安部知格会長)は11月22日、広島市で「中小企業支援機関情報交換会」を開催。中国財務局や広島銀行など10機関が参加し、外部機関活用への理解を深めた。

研修パートでは、神戸大学の家森信善教授と同会中小企業支援委員長の井原祥雅氏が登壇。家森教授は「事業性評価の必要性が増すなか、税理士などとの外部連携が重要」と強調した。

その後の情報共有パートは、日本政策金融公庫や商工組合中央金庫、広島県信用保証協会が各支援メニューを紹介。広島銀や呉信金などは注力している取り組み内容を情報発信した。会の終わりには税理士と金融機関職員らが名刺交換して交流を深めた。

安部会長は「中小企業の良き相談相手である税理士と連携できる場を今後も作っていきたい」と話した。